

## 第1回東京湾海の環境再生賞の受賞者及び授賞式について

「東京湾海の環境再生賞」とは、東京湾の環境に係る普及啓発、地域社会の活性化、青少年の育成等に取り組み東京湾の環境やそれに係る社会貢献の実績と成果がある市民団体や民間団体等の功績を称えるもので、今年設立された賞で国土交通大臣賞とみなと総合研究財団理事長賞があります。

それぞれ

- ・国土交通大臣賞は「セブン-イレブン記念財団」
- ・みなと総合研究財団理事長賞は「よこすか海の市民会議」  
の2団体が受賞されました。

これは、放送大学來生学長を委員長とし、東京湾に詳しい関係港湾管理者等で構成された審査委員会で厳正に審査された結果、多数の応募者の中から決定されたものです。

授賞式は去る10月21日に横浜で開催の東京湾大感謝祭の開会式の中で、日本テレビの榎太一アナウンサーの司会で行われました。迫りくる台風21号の影響で生憎の空模様でしたが、会場に集まった人々の熱気で小雨も気にならない雰囲気でした。



国土交通大臣賞受賞のセブン-イレブン記念財団は、「環境」をテーマに社会貢献活動に取り組むことを目的に設立され、「環境市民活動支援」「自然環境保護・保全」などをテーマに活動されている団体です。

今回の受賞は、美しく、貴重な自然を次世代に残すために、さまざまな団体と環境パートナーシップ協定を結び、地域に根ざした社会貢献活動を通じて東京湾の環境の保全・再生・改善に対して大きな貢献があったと認められたものです。



セブンイレブン記念財団 石田監事(写真右)



よこすか海の市民会議 川口代表(写真右)

みなと総合研究財団理事長賞受賞のよこすか海の市民会議は、「海と遊ぶ」「海を楽しもう」をテーマに、市民・子どもたちを対象にした体験・体感イベントを通じて、海の環境を考えるきっかけを作っている団体です。

今回の受賞は、一般市民が海に触れる機会を作り、アマモ場、岩礁域の海の観察会を通して海の楽しみを知ってもらいながら、若い世代に浅い海域の重要性を教え続けていることが、評価されたものです。



みなと総合研究財団では、東京湾の環境の保全、再生、改善の普及啓発ため、次年度もこの賞を継続していく予定です。

(担当：企画部 菊池)